

お知らせ

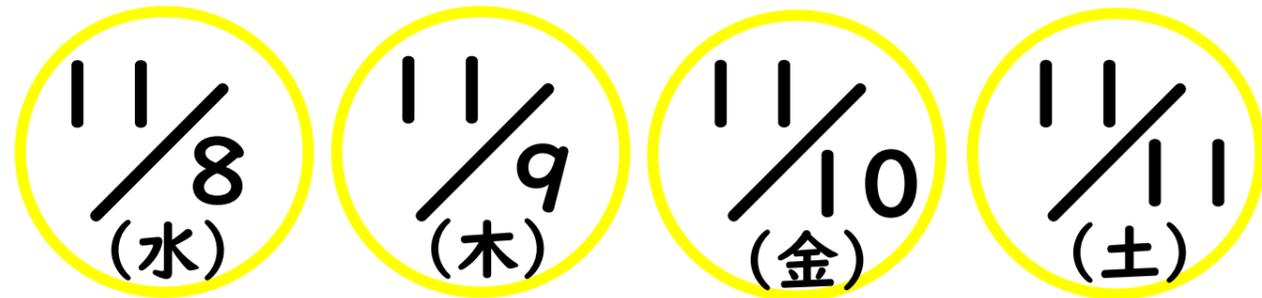
★今年も開催します★

第33回

# 城陽福祉ふれあいまつり

—「福祉活動啓発ポスター＝展示会」—

『いまだからできること ～地域・ふくし・一丸～』



10時～17時

開催場所／アル・プラザ城陽（プラムコート）

福祉ふれあいまつりは、市民の皆さんに城陽市内で活躍する福祉関係団体を知る機会づくりや市民の方々が福祉と触れ合う機会となる事を目的に開催しています。

今年度はアル・プラザ城陽にて市内の福祉団体をはじめ、関係する様々な機関・団体の活動内容がひと目でわかるポスターを展示に加え、昨年好評だったボッチャ（パラスポーツ）体験、相談ブース、体験ブースの設置、手話歌などのステージ発表を予定しています。

また、障害福祉サービス事業所の手作り製品の販売会も同時に行います。福祉に触れ合える機会、お気軽にお越しください。

たくさんのご参加をお待ちしています！！

〈お問い合わせ先〉

城陽市社会福祉協議会（住所：京都府城陽市寺田東ノロ17）  
電話：0774-56-0909 FAX：0774-56-2800  
E-mail：[koga@jyoshakyo.or.jp](mailto:koga@jyoshakyo.or.jp)



令和5年9月号発行

# ボランティアだより

—発行— 社会福祉法人  
城陽市社会福祉協議会

京都府城陽市寺田東ノロ17  
TEL (0774) 56-0909  
FAX (0774) 56-2800



## 福祉教育（福祉体験学習）研修会・ 情報交換会を開催しました



令和5年7月7日（金）城陽市立福祉センターホールにて、福祉教育（福祉体験学習）研修会・情報交換会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響により、参集が難しい状況だったことから、オンラインでの開催が続いていましたが、3年ぶりに市内小中学校の教員、ボランティア団体、当事者団体等が一同に集まって情報交換会を実施しました。

後半の研修会では、トランスジェンダー生徒交流会世話人 土肥 いつき氏より「多様な性と生を生きる子どもたちのために」の講座をしていただきました。

近年、幅広い性のあり方（LGBTQ）は社会的にも注目度が高くなっており、本内容の悩みを抱える生徒の想いや、対応する学校の教員の難しさを講義いただきました。

多様性を知り、誰もが尊重される生き方が出来る社会の実現するために、本研修がそのきっかけの一つになればと思います。





# 第46回 城陽サマースクール開催しました

～夏事業のご紹介～



今年も、障がいのある子ども達が夏休み中の生活リズムを保持するためや地域とつながる場所として、城陽サマースクールが開校されました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより、近年は制限のある中で開催となりましたが、今年度は制限が緩和され、あらためて一步を踏み出させる内容に、子どもたちの笑顔もたくさん溢れていました。7月から8月にかけて計8回の取り組みでしたが、地域の皆さんの協力のもと、無事に開催することができました。

7月22日(土) 開校式&人形劇



7月28日(木) 手作りアイテムを作ろう



8月2日(水) サマースクール寺子屋



8月27日(日) つながり縁日



8月8日(火) わいわいスポーツ



8月20日(日) ボランティア体験「フードパントリー」

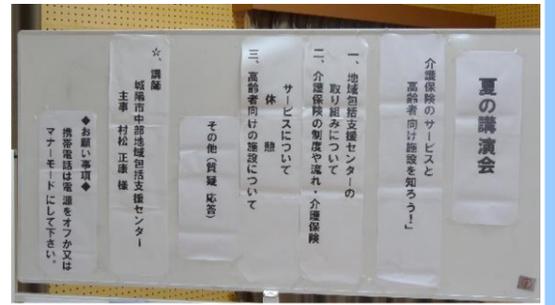


今年度も、たくさんの地域の皆さまにご協力いただきました。ありがとうございました。

# 城陽ボランティア連絡協議会 夏の講演会



令和5年7月31日(月) 城陽市立福祉センターホールにて、城陽ボランティア連絡協議会 夏の講習会が開催されました。当日は49名が参加され、城陽市中部地域包括支援センター 村松 正康氏による地域包括支援センターの取り組みや介護保険の制度・サービスについて、また、高齢者向けの施設についての講座がありました。



受講された方々は「明日は我が身。聞いておいて良かった。」「施設入所にかかる費用等、細かく説明があり分かりやすかった。」といった意見が聞かれる等、とても熱心に受講されていました。

城陽ボランティア連絡協議会役員の皆様、お疲れ様でした。



# 城陽要約筆記サークル「ダンボ」 難聴者サロン



令和5年6月19日(月) 城陽市立福祉センターホールにて、城陽要約筆記サークル「ダンボ」による難聴者サロンが開催されました。テーマは「最近の葬儀事情について」で葬儀社の職員様による講義が行われました。

時代の変化や新型コロナウイルスの影響などにより、近年では40%以上が家族葬である事等、学びの多い内容でした。

難聴者協会の方が9名参加されていましたが、講師の話す内容を、話すのと同じスピードで文字起こされる事で、皆様が聞き、理解されている姿を見て、情報保障の重要性を改めて実感する機会でした。



# 令和5年度児童・生徒の福祉作文コンクール



城陽市社会福祉協議会では、城陽市内に住む小学5・6年と中学生の皆さんに福祉について考えてもらい、関心や理解を深めてもらうことを目的に「児童・生徒の福祉作文コンクール」を実施しています。毎年、推薦作品の中から最優秀作品と優秀作品が選ばれ、最優秀作品については、令和6年2月10日(土)に文化パーク城陽にて開催予定の城陽市社会福祉大会にて登壇で発表していただく予定です。